



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月9日

上場会社名 旭ダイヤモンド工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6140

URL <https://www.asahidia.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片岡 和喜

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 小浦 雅美 (TEL) 03-3222-6311

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	27,532	25.3	1,976	—	2,451	—	1,980	—
2021年3月期第3四半期	21,969	△19.0	△959	—	△679	—	△879	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 2,577百万円 (—%) 2021年3月期第3四半期 △435百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	35.67	—
2021年3月期第3四半期	△15.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	70,278	59,260	82.2
2021年3月期	68,144	57,297	82.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 57,757百万円 2021年3月期 55,969百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2022年3月期	—	8.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	11.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	37,300	23.7	2,540	—	3,170	—	2,610	47.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	55,700,000株	2021年3月期	55,700,000株
2022年3月期3Q	171,917株	2021年3月期	192,783株
2022年3月期3Q	55,518,347株	2021年3月期3Q	55,508,277株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、取締役及び執行役員(社外取締役及び国内非居住者を除く。)向け株式給付信託(BBT)に係る信託口が所有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
3. 補足情報	8
(1) 連結財務指標	8
(2) 販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による部品不足を要因とした自動車の減産が改善傾向にありました。また、半導体関連、5G関連需要や工作機械の受注は、前期に引き続き、堅調に推移しました。海外経済においては、中国では景気の回復停滞が見られるものの、東南アジアでは回復傾向が持続しました。一方、欧米では感染症の再拡大や消費の鈍化、自動車生産が低調であったことから、経済の回復速度は低下傾向となりました。

このような状況のもと、当社グループの業界別の経営成績は、電子・半導体業界では、半導体や5G及びスマートフォン関連の需要が好調に推移し、関連工具の売上は前年同期と比べ大幅に増加しました。輸送機器業界では、各国の自動車生産は前年よりも改善傾向にあり、機械業界でも工作機械の受注や軸受生産が好調に推移したことにより、両業界向け関連工具の売上は前年同期と比べ大幅に増加しました。石材・建設業界では、民間工事の回復やインフラ対策工事の増加などにより、関連工具の売上は前年同期と比べ増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は27,532百万円(前年同期比25.3%増)となりました。利益面におきましては、営業利益1,976百万円、経常利益2,451百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,980百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,134百万円増加し、70,278百万円となりました。主な変動内容は、現金及び預金の増加2,243百万円、受取手形及び売掛金の増加1,519百万円、有形固定資産の減少745百万円、投資有価証券の減少754百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ171百万円増加し、11,018百万円となりました。主な変動内容は、未払法人税等の増加210百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1,963百万円増加し、59,260百万円となりました。主な変動内容は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1,980百万円、剰余金の配当による減少612百万円、為替換算調整勘定の増加436百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見直しにつきましては、2021年11月9日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,649	12,893
受取手形及び売掛金	9,148	10,667
有価証券	—	441
商品及び製品	2,699	2,827
仕掛品	1,456	1,576
原材料及び貯蔵品	2,143	2,292
その他	1,122	440
貸倒引当金	△57	△96
流動資産合計	27,161	31,042
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,767	12,334
機械装置及び運搬具(純額)	6,034	5,862
土地	6,684	6,641
その他(純額)	1,048	951
有形固定資産合計	26,535	25,789
無形固定資産	228	234
投資その他の資産		
投資有価証券	11,581	10,826
その他	3,143	2,935
貸倒引当金	△505	△550
投資その他の資産合計	14,219	13,211
固定資産合計	40,982	39,236
資産合計	68,144	70,278

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,293	1,370
短期借入金	540	279
未払法人税等	70	281
賞与引当金	667	304
その他	1,726	2,303
流動負債合計	4,299	4,540
固定負債		
退職給付に係る負債	5,375	5,341
事業構造改善引当金	457	467
株式給付引当金	93	106
その他	620	561
固定負債合計	6,547	6,477
負債合計	10,847	11,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,102	4,102
資本剰余金	7,129	7,129
利益剰余金	42,490	43,857
自己株式	△150	△134
株主資本合計	53,571	54,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,719	2,769
土地再評価差額金	196	196
為替換算調整勘定	△637	△200
退職給付に係る調整累計額	119	37
その他の包括利益累計額合計	2,398	2,802
非支配株主持分	1,327	1,502
純資産合計	57,297	59,260
負債純資産合計	68,144	70,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	21,969	27,532
売上原価	17,549	19,919
売上総利益	4,419	7,613
販売費及び一般管理費		
販売費	3,355	3,602
一般管理費	2,024	2,034
販売費及び一般管理費合計	5,379	5,637
営業利益又は営業損失(△)	△959	1,976
営業外収益		
受取利息	32	12
受取配当金	93	105
為替差益	52	44
持分法による投資利益	1	257
助成金収入	74	26
その他	40	38
営業外収益合計	295	484
営業外費用		
支払利息	5	3
その他	10	5
営業外費用合計	15	9
経常利益又は経常損失(△)	△679	2,451
特別利益		
固定資産売却益	—	64
投資有価証券売却益	214	53
関税還付金	—	109
特別利益合計	214	226
特別損失		
工場移転費用	187	—
特別損失合計	187	—
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△652	2,678
法人税、住民税及び事業税	102	344
法人税等調整額	120	281
法人税等合計	222	626
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△874	2,052
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	71
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△879	1,980

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△874	2,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	895	49
為替換算調整勘定	△305	582
退職給付に係る調整額	32	△78
持分法適用会社に対する持分相当額	△183	△27
その他の包括利益合計	439	525
四半期包括利益	△435	2,577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△430	2,527
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	50

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、顧客への財又はサービスの提供における当社グループの役割が代理人に該当する取引については、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、顧客から受け取る対価の総額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識することとしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高へ与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 補足情報

(1) 連結財務指標

	第102期 第3四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	第103期 第3四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	第102期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	第103期 予想 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高営業利益率 (%)	△ 4.4	7.2	△ 2.4	6.8
売上高経常利益率 (%)	△ 3.1	8.9	△ 1.1	8.5
総資産当期純利益率(ROA) (%)	△ 1.3	2.9	△ 0.5	—
自己資本当期純利益率(ROE) (%)	△ 1.6	3.5	△ 0.6	—
設備投資総額 (百万円)	5,800	1,266	6,527	1,900
有形固定資産の減価償却実施額 (百万円)	2,022	2,121	2,773	2,800
研究開発費 (百万円)	1,213	1,325	1,630	1,650
従業員数 (名)	2,100	2,065	2,050	—

(2) 販売の状況

① 連結業界別売上高

(単位：百万円、%)

	第102期 第3四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		第103期 第3四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		第102期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		第103期 予想 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
電子・半導体	8,004	36.4	10,128	36.8	11,070	36.7	13,850	37.1
輸送機器	4,872	22.2	6,126	22.3	6,800	22.6	8,250	22.1
機械	5,408	24.6	7,302	26.5	7,460	24.7	9,840	26.4
石材・建設	2,767	12.6	3,066	11.1	3,635	12.1	4,120	11.1
その他	916	4.2	908	3.3	1,176	3.9	1,240	3.3
合計	21,969	100.0	27,532	100.0	30,143	100.0	37,300	100.0

② 連結地域別売上高

(単位：百万円、%)

	第102期 第3四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		第103期 第3四半期 連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		第102期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		第103期 予想 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
日本	12,126	55.2	14,320	52.0	16,566	55.0	19,360	51.9
台湾	1,905	8.7	2,429	8.8	2,610	8.7	3,330	8.9
中国	2,071	9.4	2,672	9.7	2,933	9.7	3,630	9.7
その他アジア・オセアニア	2,936	13.4	3,637	13.2	3,989	13.2	4,950	13.3
欧州	1,729	7.9	2,543	9.2	2,409	8.0	3,370	9.0
北米	—	—	1,363	5.0	—	—	1,900	5.1
その他	1,200	5.4	565	2.1	1,634	5.4	760	2.1
合計	21,969	100.0	27,532	100.0	30,143	100.0	37,300	100.0

(表示方法の変更)

従来「その他」に含めていた「北米」における売上高は、重要性が増したため当第3四半期連結累計期間より独立掲記しております。